

探究 PF I

～研究所訪問実習～

1年生文理探究科80名が、7月4日（火）に研究所訪問実習に取り組みました。研修場所は長崎県環境保健研究センターと長崎県工業技術センターの2か所で、いずれかを生徒の興味関心によって選択しました。

長崎県環境保健研究センターでは、まず気候変動適応について講義を拝聴しました。気候変動が私たちの生活に大きな影響を与えることが危惧されるなか、今後「食」「暮らし」「健康」をどのようにして快適な状態を維持していくのか、その方法を研究しているそうです。品種改良や栽培技術の開発だけでなく、私たち自身の身の回りからできる気候変動への「適応」があることを学び、今後実践していかななくてはならないことに気づかせていただいた貴重な講義でした。また、身近な郡川の水中に溶解している酸素量（DO）の測定を班ごとに分析しました。溶液を混和したり、測定したりすることによって溶存酸素量を計算して求めることができました。その結果、水質の状態が非常に良い状態であり、生物の環境は今のところ最適であることを確証しました。これからもこの状態を維持できるように私たちができる川の水を汚さない工夫を実践していかななくてはならないと思いました。

工業技術センターでは、まずセンターの概要に関する講義を拝聴しました。その後、4つのグループに分かれ、基盤技術部内のシールドルーム、無響室等の5つの部屋を訪問し、精度の高い検査機器等を間近で観察しました。特に、電子顕微鏡で備長炭の断面を観察したり、3Dプリンターで造られたさまざまな模型を観察したりと学校ではできない貴重な体験をすることができ、工業技術に関する興味関心を高めることができました。



上段は環境保健センター

下段は工業技術センター

